

# キーパーLABO刈谷店流! フォトログの撮影方法

コーティング施工車のお渡しの際、予想を超えたその仕上がりにお客様は大変満足されます。そのキレイな車の写真を撮ってフォトログに載せると、そのお客様はまた喜んでくれます。そしてキレイになっている車の写真を見た別のお客様が、コーティング施工をしにきていただけます。そんな経験を皆さんと共有できたらと、撮影のポイントをいくつか紹介させていただきます。

## 1 太陽光、水銀灯、LEDなどの強い点光源はNG!

太陽光、蛍光灯、水銀灯、LEDなどの強い点光源は、逆にツヤがボケて見えてしまうため、使用しないようにしましょう。



太陽光や蛍光灯など、ツヤが表現できそうに感じますが、強い点光源は逆にボヤけて見えてしまいます。

## 2 窓、風景などを写り込ませるとツヤが際立つ!

蛍光灯や水銀灯ではなく、写り込んでいるもの(窓、風景、空)がはっきり見えるような角度から撮ります。



窓や風景、空を写り込ませることで、透明感やピカピカのツヤがより強調されて見えます。

## 3 車を小さく撮るのはNG!

施工車両の写真は画面いっぱい撮りましょう。小さく撮ってしまうとツヤの迫力がなかったり、車以外のものが多く写ってしまうためです。



車はツヤ良くいい感じに撮影できていても、周りに他の車や道具が写っていると良さが半減してしまうので注意!

## 4 施工看板を使う

施工看板を使い、車を撮っただけの写真に見えないようにし、コーティングの施工が仕上がっている感じを出しています。



看板をあまり離れたところに置いてしまうと、ツヤがボケてしまったりするので、距離感に気をつけましょう。

## 5 プレスラインのツヤを探す

プレスラインや曲面を見ながらカメラを上下左右に動かしながら、塗装面が濡れているような感じを探します。



昼と夜とで、もっともツヤが出るベストポジションを見つけておくと、迷わずに撮れます。

## キーパープロショップフォトログの達人に聞きました!

### アポロ興産(株) サガミサービスステーション 安藤副所長

私たちが写真を撮る場所は、キャンピーの下と決めています。ダメな場所は、太陽の光が直接あたる屋根のないところです。ここで撮るとツヤがボケてしまいます。

一番キレイな角度を探して、カメラを持って動きます。特に左前からと右前からは必ず撮影します。そして、一番キレイに撮れた写真をフォトログに掲載します。最近はフォトログを見てご来店いただくお客様が増えてきました。また、レポートのお客様からも掲載を喜んでいただけます。スタッフも自分の撮った写真が、Webの店舗情報や待合室の掲載写真に選ばれることをやりがいとしています。

### 秘技! 太陽光が直接当たらない場所で撮る



太陽光を直接当てるとツヤがぼやけます



太陽光を直接当てずに風景を入れ込むとツヤが良く撮影できます

### 山文商事(株) Dr.Driveセルフ広見町SS 穂畑(ほばたけ)マネージャー

車の前方から後方まで全体が写るようにすることで、お客様に喜んでいただいています。

撮影する場所は、いろいろと試した結果、ピット内で撮影することに決めました。気を付けていることは、使用済みのタオルや廃油缶などがお客様の車と一緒に写らないことです。車がキレイに撮れる角度が決まったら、その周りにも注意して撮影します。撮影には、画面の大きいiPhone6が役に立っています。

秘技!  
キレイに撮れる  
角度を決めて、  
さらに  
車の周りも注意!

